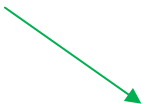





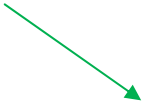







秋冬野菜の生育状況と11月の価格見通しについて（11月1日現在）
（東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類	生育は順調。出荷数量は平年を上回る見込み。
葉 茎 菜 類	生育は順調。特にキャベツについては、主産県の作付面積が増加していることもあり出荷数量が増加する見込み。
果 菜 類	トマトについては、天候不順により着果が悪く 出荷数量が減少する見込み 。その他果菜類の生育は概ね順調。
土 物 類	たまねぎについては、生育期における天候不順、台風12号等により 収量は低下 。ばれいしょ等の出荷数量は概ね平年並の見込み。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年11月の 入荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			11月前半	11月後半
だ い こ ん	千 葉 (59%) 青 森 (14%)	好天により千葉県が生育が前進し、収穫の終盤である青森県の出荷と重なるため、 <u>出荷数量が平年を上回ることから、価格は平年を下回る見込み</u> 。ただし、今後、気温が低下し、おでん等の需要が増加すれば価格が上昇する可能性。		
に ん じ ん	千 葉 (37%) 北 海 道 (36%)	千葉県の生育は順調であるが、北海道産が台風12号・15号による病害虫の発生により収量が若干低下しているため、 <u>出荷数量は概ね平年並になり、価格も概ね平年並の見込み</u> 。		

はくさい	茨城(84%)	<p>前半は、主産県が茨城県に切り替わることに伴い、一時的に出荷数量が減少する可能性はあるが、<u>価格は平年並</u>の見込み。</p> <p>後半は、茨城県における生育が順調であり、<u>出荷数量は平年を上回る</u>ことから、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。</p> <p>ただし、今後、気温が低下し、鍋需要が増加すれば価格が上昇する可能性。</p>	→	↘
キャベツ	千葉(36%) 愛知(28%)	<p>主産県における作付面積が増加していることに加え、生育が順調で<u>出荷数量が増加</u>することから、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。</p>	↘	↘
ほうれんそう	群馬(45%) 茨城(15%)	<p>生育は順調であり、<u>出荷数量、価格ともに平年並</u>になる見込み。</p>	→	→
ねぎ	青森(17%) 埼玉(8%)	<p>台風15号の影響のあった青森県及び埼玉県<small>の生育が回復して</small><u>出荷数量が増加</u>するため、<u>前半の価格は平年を下回る</u>見込み。</p> <p>後半は、青森県等<small>の出荷が終了する</small>ことに伴い、<u>出荷数量は平年並</u>になることから、<u>価格も平年並</u>になる見込み。</p>	↘	→

レタス	茨城(64%) 兵庫(12%)	茨城県の生育順調が順調であることに加え、関東高冷地産の出荷が続いて出荷数量が増加するため、前半の価格は平年を下回る見込み。 後半は、茨城県の出荷数量が降霜に伴って減少することに加え、兵庫県の生育が、台風15号及び10月の多雨の影響により10日程度遅れており、出荷数量は平年をやや下回ることから、価格は平年をやや上回る見込み。		
きゅうり	埼玉(35%) 群馬(18%)	前半は、台風12号・15号により、埼玉県及び群馬県において病害虫が一部発生して出荷数量が平年をやや下回るが、価格は概ね平年並の見込み。 後半は、気温が徐々に低下し無加温施設栽培の出荷数量が減少することから、価格は平年を上回る見込み。		
なす	高知(59%) 福岡(15%)	生育は順調であり、出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。		
トマト	熊本(34%) 千葉(18%)	出荷の最盛期を過ぎた千葉県の出荷数量が徐々に減少することや、熊本県において8月後半の曇雨天や9月の多雨により着果が悪く出荷数量が平年を下回ることから、価格は平年を上回る見込み。		

ピーマン	茨城(49%) 宮崎(13%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>	→	→
ぱれいしょ	北海道(98%)	台風12号・15号による病害虫の発生で収量がやや低下したものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
さといも	埼玉(46%) 千葉(15%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u> ただし、今後、気温が低下し、煮物等の需要が増加すれば価格が上昇する可能性。	→	→
たまねぎ	北海道(83%)	北海道において、北見管内における6月上旬の降雹被害の影響、上川・空知管内における6月～7月の多雨等により根が傷んで小玉傾向となったことに加え、台風12号の影響もあって、 <u>総じて収量は平年の8割程度の見込みであるが、減少分を海外から輸入するため価格は平年並の見込み。</u>	→	→